

論理で学ぶ教専ゼミ国語コースのご案内

2023.3.8(水)

長文読解の学習

読解問題の最初には必ず次のフレーズが書いてあります。

「次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。」

これは「答は文章の中に書いてありますからそれを探してくださいね」という意味です。

読解の不得意な人は、自分で考えて答を作ろうとします。

実は、出題者は設問の中に答を見つけるための「キーワード」を用意してくれています。

その「キーワード」を使うと、文章の中から答を「見つけ出す」ことができるようになります。

教専ゼミの国語指導は、このような論理的に読解する力を身につけたい人向けの指導です。

(注意することは、読書によって読解力がつくわけではない、ということです。)

(1) 学習計画

10級から1級まで143回(A4プリント572枚)を
学年に関係なくできるところから始めます。

1級を終了した人には、

高校入試上級レベルの1段(10回, A4プリント112枚)の学習をします。

(2) 学習問題(教材)

問題は入試出題問題を中心に、物語文・小説、随筆文、説明・論説文、詩・短歌・俳句
などすべてのジャンルを含む中学・高校入試対策向け”良問”です。

→実際に授業で使うプリント教材 「●国語 長文読解3級」

●国語 長文読解3級★ 学習計画書 ★

(ブラウザのバック矢印でこの文書に戻ることができます。)

■演習問題は、教専ゼミ・山形・東原教室で個人指導を受けることができます■

(3) 対象

小学1年から学習できます。言語は早期学習が効果的です。

小学3年までは、漢字やことばの学習も含みます。

上は、高校入試レベルの学習までできます。

数学の長文問題対策

近年、高校入試、大学入試ともに数学の問題が「国語の読解問題ではないのか」と見間違えるほど長くなっています。

長文の問題を読み、条件と設問の意味を瞬時に、正確に読み取らなければなりません。読解力がないと、数学の力があっても、問題の意味が取れず、問題を解けないということが起こります。

「数学の長文問題を解くための読解力」は、説明文や論説文の学習だけで身につけることでできます。とくに、

指示語を的確におさえ、
全体の文の構成を読み取り、
筆者は何が言いたいのかを瞬時に、正確に読み取る力が要求されます。

だから、国語のようにこ難しい文章を学習するのではなく、平易な文章を速く的確に内容を把握できる教材を使って学習することが必要となります。もっともいい教材は、国立・私立中学・高校の入試出題問題です。なぜならば、入試問題というのは、

入学してくる生徒に持っていてほしい学力を検査するために、その学校が1年間をかけて作成したものであるからです。

このような事情から、数専ゼミでは、国立・私立中学・高校の入試問題（説明文、論説文、随筆）を教材として、数学の長文問題を解くための読解力 および、文を読むことの”慣れ”（抵抗なく長文を読みことのできる力）（文を読む”慣れ”は、読解技術以前の読解の重要な素養です。）を育てる指導しております。

国文法の学習

主語と述語のつながり、
修飾語と被修飾語のつながり、
文と文のつながり、
文章と文章のつながり
などの日本語のしくみや規則についての知識が、
文章の要約、作文、小論文など、文章を作る際のツールとなります。

このようなツールを意識的に適用していくことによって、まとまりのある、説得力のある文章が書けるようになります。そうした力をつけたい人向けの日本語表現法のツール＝国文法の指導です。

(1) 学習計画

文法の基礎（文、文節、単語）、
活用のない自立語、活用のある自立語（用言）、

活用のある付属語（助動詞），
活用のない付属語（助詞），
敬語
の中から学習できます。

(2) 学習問題(教材)

問題は，教科書レベルから高校入試レベルまで含みます。
学校の授業で学んでいる内容，
あるいは入試対策として復習しておきたい内容
等，学習内容はそのつど自由に選んで学習できます。

(3) 対象

対象は中学生です。
ただし，国語の得意な小学生なら，6年生くらいから学習できます。

国語コースの学習計画

(1) 長文読解の学習

10級から1級まで143回(A4プリント572枚)を
学年に関係なくできるところから，低い級から順に級を上げて学習を進めていきます。
・10級は小学1年程度，4級は中学1年程度，1級は高校受験程度のレベルです。
・「数学の長文対策」だけを学習したい人は，説明・論説文，随筆文だけを学習し，
物語文・小説，詩・短歌・俳句は学習しません。
(2倍ほどのスピードで学習を進めることができます。)

(2) 国文法の学習

- ・通常は，学校で文法の学習を始めたときに，学校の授業と並行して学習している項目を学習します。(文法学習を始めたいときには，学習したい項目を申し出て下さい。)
例えば，学校で，“形容詞”の勉強を始めたときには，塾でも“形容詞”の学習をします。
定期テスト対策になります。
- ・高校受験対策(文法問題対策，作文問題対策)として文法を学習しておきたい人には，最初から系統的に文法の学習を進めます。(文・文節から始めて，敬語までやります。)
- ・国文法の学習は選択です。学習する必要がない人は，お申し出下さい。

定期テスト対策

長文読解演習は，すべての教科の基礎となる学力を鍛える学習で，これはこれで日々努力していかなければならない課題です。

この学習とは別に、学校の定期テストが近づいたら、学校の国語の定期テスト対策も独自にやらなければなりません。

多くの生徒は、「国語は、何を勉強していいかわからない。」といます。

だから、数専ゼミでは、定期テストの範囲をカバーする“定期テスト”対策教材を無料で提供しています。

希望者のみです。強制課題ではありません。

定期テスト対策教材のほしい人は、学校から「テスト範囲のプリント」が提供されたら、塾の先生に提出してください。定期テスト範囲の対策教材をさしあげます。

分量が多いので、塾の時間内で学習するのは無理ですので、資料だけあげています。

先生の説明よりも詳しい説明が添付してありますので、一人で学習できますし、

日頃、長文読解の練習をしているので、その技術を使って解くと、すらすらと解けるようになります。

学校のテストで高い点数をとってこそ、長文読解の学習をやっている意味があります。

長文読解の学習の効果を試す意味でも、学校のテスト対策教材を徹底して繰り返し学習してください。

論理で学ぶ数専ゼミ国語コース

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp